

2016年3月31日

ソフトバンク・テクノロジー株式会社

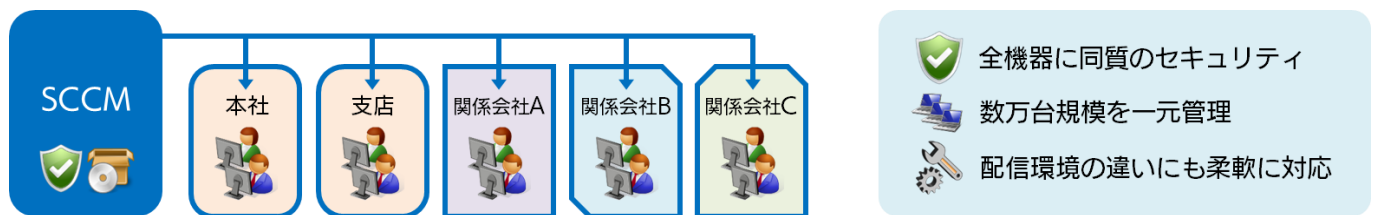
報道関係者 各位

## 【SBT 導入事例】鹿島グループが IT 資産約 2 万台を一括管理 マイクロソフトの資産管理ツール System Center と Intune を導入し、クラウド化を推進

### POINT

鹿島建設が IT 中期方針に基づき、グループの IT インフラ強化を推進。グループ各社で異なる PC 等のセキュリティ対策を、SCCM と Intune で一元化し、セキュリティレベル向上。SBT の SCCM サポートで運用負荷を軽減。

ソフトバンク・テクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：阿多 親市、以下 SBT）は、鹿島建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：押味 至一、以下鹿島）にマイクロソフトソリューション「System Center 2012 Configuration Manager」(以下 SCCM) および Enterprise Mobility Suite (EMS) のコンポーネントの1つである「Microsoft Intune」(以下 Intune) を導入しましたので、お知らせします。



▼ 本事例の詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.softbanktech.jp/case/list/kajima02/>

### 鹿島グループの IT 中期方針の実現、SBT がソリューション提供と運用でサポート

鹿島は、1840 年の創業より、ビルや公共施設、交通インフラなど、数多くの構造物を手がけ、日本をはじめ世界中で社会基盤の整備に携っている企業です。鹿島では、IT 中期方針を策定し、グループ内の情報共有基盤の結合による利便性向上と運用コスト削減を実現するため、クラウドサービスを活用した IT インフラ環境の整備を推進しています。

その第 1 弾として鹿島は、クラウド型のコミュニケーション基盤 Office 365 と Active Directory 連携ソリューション ADFS on Cloud を SBT から導入しました。グループ各社で個別に利用していたメールシステムを統一し、生産性向上とユーザーの利便性を向上することで、鹿島グループの経営基盤強化を図っています。SBT のヘルプデスクサービスを活用することで Office 365 の有効活用にもつながっています。

今回、第 2 弾として、グループ全体のクライアント PC の構成情報やソフトウェア更新・配布の一元管理を実現し、セキュリティレベル向上するため、SCCM と Intune を導入しました。導入にあたり、Office 365 のヘルプデスクサポートの実績、それに加えて SCCM の運用もまかせられることが、SBT への評価につながりました。SCCM の導入により、PC・サーバーの情報を収集し、脆弱性対策やソフトウェアバージョンアップ等も、グループセキュリティ方針に沿って円滑に実施できるようになりました。グローバルに事業を展開する鹿島では、社内ネットワーク環境が整っていないエリアにある PC・デバイスを管理するため、今後、Intune の本格的な活用を検討していく予定です。

SBT は引き続き、付加価値の高いサービスの提供を通じて、お客様のビジネスの発展に貢献してまいります。

※ 本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

## ソフトバンク・テクノロジー 概要

「情報革命で人々を幸せに ～技術の力で、未来をつくる～」という理念のもと、データを安全に利活用できるクラウドサービス提供企業として、“クラウド” “セキュリティ” “デジタルマーケティング” の3分野に注力しています。独自のクラウドサービス群の利用者は40万ユーザーを突破し、業界トップクラスの実績がお客様の信頼につながっています。当社は、今後もクラウドサービスをより安全に、より便利に利用できる付加価値の高いサービスを提供してまいります。

### 報道関係者様向け お問い合わせ窓口

ソフトバンク・テクノロジー株式会社 管理本部 経営企画部 齊藤、安部、菅

TEL : 03-6892-3063 Email : [sbt-pr@tech.softbank.co.jp](mailto:sbt-pr@tech.softbank.co.jp)



本ドキュメントでは、フォントワークス株式会社のフォント[ UD 角ゴ ラージ Pro ]を使用しています。